



2015年6月12日

報道関係各位

2秒に1台売れているミニカー！つなげると地球1周超！

ダイキャスト製ミニカー「トミカ」6億台達成！

車の時代を映し続けて45年 毎月新車登場 6億台突破記念キャンペーンも実施！

株式会社タカラトミー

株式会社タカラトミー（代表取締役社長：富山幹太郎／所在地：東京都葛飾区）の販売するダイキャスト製ミニカー「トミカ」は、2015年6月末日までに累計出荷台数6億台を達成する見込みとなりました※1。

1970年の発売から約45年での6億台達成となり、およそ2秒に1台売れている計算です。6億台のトミカをつなぎ合わせると約4万6千キロメートルとなり、地球1周（約4万キロメートル）を超える長さとなります。

現在は、3世代にわたり楽しめられるとともに、国内では2～7歳男児における認知率が90%以上、所有率が80%を超える※2など、子どもたちの多くが一度は手に取る「ゲートイ」としても定着しています。



※画像はイメージです

「トミカ」単品は常時140台をラインナップ、第3土曜日を「トミカの発売日」として毎月新商品を発売しています。6億台達成となる今月は、「No. 78 スバル レヴォーグ」「No. 83 ヤンマー トラクター YT5113」（各450円／税抜き）等の新商品を、6月20日（土）から全国の玩具専門店、百貨店・量販店等の玩具売り場、トミカ専門店「トミカショップ」、インターネットショップ、タカラトミー公式ショッピングサイト「タカラトミーモール」等にて発売いたします。



また、6億台達成を記念して、6月20日（土）から、抽選で1万名にオリジナルトミカ「ランボルギーニ ヴェネーノ ロードスター」をプレゼントする

「トミカ6億台突破記念！ ありがとうキャンペーン」を実施いたします。

今年2月に発売した「NO. 118 ランボルギーニ ヴェネーノ」が発売以来好評を博し、6億台達成のけん引役ともなったことを背景に、本キャンペーンの賞品としてオープンタイプの「ランボルギーニ ヴェネーノ ロードスター」（非売品）のオリジナルトミカを企画いたしました。



キャンペーン オリジナルトミカ
「ランボルギーニ ヴェネーノ ロードスター」

「トミカ」は、外国製のミニカーが全盛で国産車ミニカーを求めるお客様の声が高まっていた当時、「日本の子どもたちに、もっと身近な国産車のミニカーで遊んでもらいたい」という熱い想いのもと誕生しました。発売当初からパッケージの横幅が変わっておらず、実車をリアルに再現することを探求しながらも子どもの手のひらに収まるサイズにデフォルメしていることが「トミカ」の特徴です。

子どもたちが遊びやすい“手のひらサイズ”や実車の特徴を捉えたギミックとプロポーション、高い走行性能などが発売以来支持されています。



「トミカ」は、モータリゼーションの発展とともに常に時代を反映したラインナップを展開してきており、「トミカ」を見れば時代が分かるともいわれています。子どもも大人も誰もが“初めのお気に入りの1台”に出会えるよう、身近な車から憧れの車まで様々な「トミカ」を企画・開発しています。「トミカ」は6億台という節目を迎え、これからも進化し続けてまいります。

〈商品概要〉

商品名：**トミカ「No. 78 スバル レヴォーグ」**

トミカ「No. 83 ヤンマー トラクター YT5113」

希望小売価格：各450円(税抜き)

発売日：2015年6月20日(土)

対象年齢：3歳～

商品サイズ：約W60×H40×D30(mm)

商品重量：約35(g)

※商品サイズ、重さは商品により異なります。

販売目標：年間1,000万台(単品シリーズ合計)

取扱い場所：全国の玩具専門店、百貨店・量販店等の玩具売り場、トミカ専門店「トミカショップ」、インターネットショップ、タカラトミー公式ショッピングサイト「タカラトミーモール」等

著作権表記：© TOMY 「トミカ」は株式会社タカラトミーの登録商標です。

ホームページ：<http://www.takaratomy.co.jp/products/tomica/>



左：「No.78 スバル レヴォーグ」

右：「No.83 ヤンマー トラクター YT5113」

©ヤンマー株式会社

※1 国内累計出荷台数です。累計880種以上の車種を発売し、6月末日までに6億台を達成する見込みです。(※「ドリームトミカ」「トミカプレミアム」等は含みません。)

※2 2013年3月 タカラトミー調べ(n=1854人)

※3 キャンペーン期間 6月20日～9月30日まで

応募方法 「トミカ」単品(No. 1～140)のパッケージに付いている「トミカマーク」5枚で一口応募が可能。

〈報道各位から本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社タカラトミー 広報部 TEL 03-5654-1280 FAX 03-5654-1380

〈読者から商品に関するお問い合わせ先〉

株式会社タカラトミーお客様相談室 TEL: 0570-04-1031(ナビダイヤル)

※IP 電話・一部携帯電話、PHS 及び海外からのお電話は 03-5650-1031 をご利用ください。

《ご参考》

■トミカ販売台数の推移

- 1970年8月 初代「トミカ」発売
- 1976年 1億台突破
- 1979年 2億台突破
- 1984年 3億台突破
- 2000年 4億4000万台突破
- 2010年 5億3800万台突破
- 2015年 6月 6億台突破

※6月末日までに達成見込み



初代トミカ（1970）

「日本の子どもたちに、もっと身近な国産車のミニカーで遊んでもらいたい」という熱い思いのもと当時人気だった6台の国産車をモデルに誕生しました。

■過去10年の販売ベスト10車種(2005年～2014年)

1位	2位	3位	4位	5位
No. 41 モリタ CD-1型 ポンプ 消防車	No. 4 Honda VFR 白バイ	No. 45 トヨタ ダイナ 清掃車	No. 79 トヨタ ハイメディック救急車	No. 108 日野 はしご付消防車 (モリタ・スーパージャイロラダー)
				

※各商品の番号は、現行商品の通しナンバーです。

■時代を反映した「トミカ」の変遷(一例)

【1970年代】

国産車の人気車種を中心とした6台からスタートしました。現在も変わらぬ人気を誇る車種や、トラックや消防車、建設車両というような「はたらくクルマ」もこの時代から「トミカ」に登場していました。



1971年
Honda TN360 トラック



1971年
スカイライン 2000GT



1972年
日野はしご消防車



1979年
童夢-零

(次ページ: 1980年～)

【1980年代】

自動車の高性能化に伴い各社から登場したスポーツカーの「トミカ」が人気を集めました。また、この年代から「トミカ」の120台ラインナップがスタートしました。



1981年
トヨタ ソアラ 2800GT
エクストラ



1982年
ニッサン スカイライン
シルエット フォーミュラ



1986年
マツダ サバンナ RX-7



1988年
Honda プレリユード

【1990年代】

大型高級セダンやRVが人気を集めるとともに、現在は一般的になったミニバンやハイブリッドカーの登場に合わせ、「トミカ」でも続々と商品化されました。



1990年
トヨタ セルシオ



1994年
ユーノス ロードスター



1996
Honda オデッセイ



1998年
トヨタ プリウス



1999年
三菱パジェロ

【2000年代】

コンパクトカーやミニバンのブーム、大型スクーターの普及というようなトレンドが「トミカ」のラインナップにも反映されました。そして2000年から毎月第3土曜日の「トミカ」新車発売がスタートしました。



2000年
トヨタ ヴィッツ



2002年
日産 マーチ



2002年
トヨタ アルファード



2006年
スズキ スカイウェイブ

【2010年代】

伝統を受け継ぎつつも新たな魅力を発する新型車や、軽自動車の人気車種、そして外国車の商品化も充実し、「トミカ」のラインナップは多様な自動車の登場とリンクしつつ、日々さらにバラエティに富み充実しています。



2011年
日産 リーフ



2012年
トヨタ86



2013年
Honda N BOX



2014年
トヨタ クラウン アスリート